

行政



▶▶▶ 西濃県税事務所 水野 巴絵

配属歴

H30年 採用 建設政策課
R3年 子ども家庭課
R5年 現所属

ある日のスケジュール

- 8:30 ● 登庁・出張準備
- 9:00 ● 税務署にて申告書等閲覧
- 12:00 ● 昼休み
- 13:00 ● 課税資料の入力
- 14:00 ● 法人へ申告書を郵送
- 15:00 ● 税額調査
- 17:15 ● 退庁



Q 現在の仕事内容を教えてください。

県税の一つである法人県民税及び事業税の課税業務を行っています。主な業務内容は、課税資料の入力、税額調査、不申告法人調査です。県内で事業を行うすべての法人に適正・公平に課税を行う仕事です。しっかりと知識を身に付けていく必要があり、知識の幅が広がります。

Q 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

県外の大学へ進学し、多くの方と交流する中で、岐阜県の魅力が十分に伝わっていないように感じました。一方で、自分は県外で生活をする中で、岐阜県の魅力に改めて気づくことができ、多くの方が岐阜県に興味を持ってほしい、来てほしいと思ったことがきっかけです。また、大学のゼミで、岐阜県職員の方とともに地域経済学を勉強する機会があり、大学での学びが活かせると思い志望しました。

Q 働く環境についてはどう思われますか。

時短勤務等の勤務時間の調整や休暇制度が充実しているため、職員の家庭環境に合った働き方ができる職場だと思います。また、行政職は同期が多いため、仕事についての悩み等、気兼ねなく相談できる仲間が多く、助かっています。

派遣研修経験者紹介

PICK UP

岐阜県では、国、大学院、海外等へ派遣研修も行っており、職務の遂行に必要な知識、技能及び教養を修得します。

令和5年度の主な派遣先

内閣府、総務省、財務省、外務省(リトアニア等)、経済産業省、京都大学大学院等

REPORT

行政

国際交流課
高桑 愛美



H28.4~H30.3

一般財団法人自治体国際化協会
ロンドン事務所派遣

ロンドン事務所では、日本の自治体からの依頼による欧州の行財政制度等の調査や、イベントへの観光PRブース出展等を担当しました。

現在は国際交流課で、ポーランドやフランスとの交流や、観光・食・モノを海外にPRする「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」の調整等を担当しています。海外との折衝は一筋縄ではいきませんが、制度や文化の違いに試行錯誤しながら業務を進めた経験が役立っています。

REPORT

行政

財政課
三宅 祥平



H31.4~R3.3

財務省派遣

財務省に派遣され、国の予算編成業務に携わりました。他省庁からの予算要求に対して全国の先進事例や他国の施策、国会議員の意見や答弁内容を把握し、上司や同僚とともに粘り強く議論を重ね査定方針を決定する主計局の仕事を通じて多様な視点から物事を捉える力を培うことができたと思います。

現在は岐阜県の予算編成業務を担当していますが、日々広い視点から情報を集め、県に真に必要な政策や事業は何かを問いかけながら業務に取り組んでいます。

土木

動画で
CHECK!



▶▶▶ 岐阜土木事務所 山本 浩大

配属歴

H29年 採用 古川土木事務所 R 4年 現所属
R 2年 道路建設課

Q 岐阜県庁を志望した動機と現在の仕事内容を教えてください。

大学で学んだ土木の知識を、少しでも活かせる職に就きたいと考えたことと、生まれ育った岐阜県で働き、道路や河川事業等の様々なインフラ整備に携わりたいと考えたからです。また、ワークライフバランスの点においても魅力を感じ、働きやすい職場であることから岐阜県庁を志望しました。現在は、岐阜県が管理する国道や県道を整備する工事や設計業務の発注、監督業務を行っています。工事や業務を安全かつ円滑に進めるため、請負業者と協力しながら、打ち合わせや現場立ち合い等を実施しています。また、地元住民の方への説明や関係機関との調整等を行っています。

Q 今の仕事のやりがいを教えてください。

県の事業では、計画から設計、施工まで一連の業務を行い、それが形に残ります。現場で起こる様々な課題について、工事請負業者やコンサルタントなどの関係者と協力しながら対応し、現場を完成させていくことに大きなやりがいを感じています。また、自分の携わった道路が地域のみなさんに利用されているときには、この仕事をやって良かったと感じますし、維持管理や自然災害への対応等、地域に貢献しながら自分自身の成長を実感できるところにもやりがいを感じています。

Q 働く環境についてはどう思われますか。

困ったことや悩み事があれば、知識が豊富な上司や先輩職員に、気楽に相談できる風通しの良い職場だと思います。決して物事を一人で進めていくのではなく、土木の仕事はチームで進めていく職場だと感じます。また、休暇も取得しやすい環境であり、育児休業を取得できるなど、ワークライフバランスのとれた柔軟な働き方ができるところも魅力だと思います。



農業土木

動画で
CHECK!



▶▶▶ 西濃農林事務所 金森 修平

配属歴

H28年 採用 農地整備課 H31年 岐阜農林事務所
H29年 恵那農林事務所 R 4年 現所属

Q 現在の仕事内容を教えてください。

洪水による農地等の浸水被害を軽減するため、老朽化した排水機場の更新整備を行う工事を担当しています。工事や調査設計の監理を確実にを行うほか、円滑に実施するために地元や関係機関と調整を行っています。大学で農業土木について学んでいましたが、入庁してまず事業の規模や金額に驚き、公金を扱う責任を感じました。また、工事や計画のほか、補助金事務や小学校での環境教育など担当する業務が多岐にわたるため、新鮮な学びがたくさんあります。

Q 岐阜県の技術(専門)職員として働く魅力を教えてください。

岐阜県は多彩な自然条件を生かした多種多様な営農が行われているため、地元で密着した生産基盤の整備から自然災害に対する規模の大きな防災事業まで広く経験することができます。農業をとりまく状況が変わっていく中で、未来を支える農業・農村づくりに貢献できるところが魅力だと思います。課題解決のために様々な人と知恵を出し合って協力することで足し算以上のエネルギーを感じる時があり、非常に充実した気持ちになります。それが形に残ることが、この仕事のやりがいだと思います。また、使いやすさや将来の利用を考えた工夫に対して営業者や施設管理者の方々から感謝の言葉をいただいたときは頑張ってよかったと感じます。

Q 困難な事例があったときにどうやって解決されましたか。

普段から相談しやすい雰囲気があるため、上司や先輩に早めに相談します。自分の考えを話すと、経験や知識を活かしてさらに改善できるアドバイスをいただけるので、安心して積極的に仕事ができる環境だと思っています。また、何でも話せる同期の存在が励みになるので困難な場面でも前向きに働けます。

